



三浦弘太郎くん
(中央一丁目)
11月13日生まれ



中屋 苺々ちゃん
(福角町)
11月18日生まれ



松田 凌杜くん
(小栗三丁目)
11月19日生まれ



黒田 未琉ちゃん
(東石井四丁目)
11月22日生まれ



▷ 768



岡山 遥希くん
(鷹子町)
11月20日生まれ



武智 心那ちゃん
(西長戸町)
11月27日生まれ



岡本 光生くん
(和泉南三丁目)
11月26日生まれ



横田 結々ちゃん
(北久米町)
11月28日生まれ

誕生日の前月1日(必着)までに、郵送・eメールで赤ちゃんの写真、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、住所、電話番号(郵送の場合は写真の裏に記入)を、〒790-8571 広報課 kouho-baby@city.matsuyama.ehime.jp へ(応募多数の場合は抽選・応募写真は返却しません)

8月に山形県天童市で開催された同大会女子の部で優勝した山根さんに10月12日、かがやき松山大賞が贈られました。

同大会2連覇中の山根さんは「日々の練習の成果を発揮し、優勝できてうれしかったです。3連覇目指して頑張ります」と抱負を述べました。

8月にタイで開催された同大会9歳女子組手の部で優勝した近藤選手に10月24日、かがやき松山大賞が贈られました。

兄の影響で空手を始めた近藤さんは「次の世界大会にも出場できるように、型と組手を頑張りたいです」と意気込みを語りました。



山根 ことみさん
(雄新中2年)

第32回全国中学生選抜将棋選手権大会 女子の部 優勝



近藤 紗弥選手
(石井東小3年)

第12回船越義珍杯世界空手道選手権大会 9歳女子組手の部 優勝

かがやき松山大賞



多くの見物客が見守るなか角を切るよるい武者モデル(鹿島会場)

河野氏まつり 高縄山などの会場で歴史・文化学ぶ

河野氏にまつわる歴史や文化を学んでもらおうと「ワンダーランド」河野氏まつりが10月23日、高縄山・ふるさと館・鹿島会場で開催され、延べ600人が秋の北条を楽しみました。

まつりは霧に包まれた高縄山中、イベントを盛り上げるよるい武者と姫モデルの撮影会で始まり、高縄寺では、河野氏に関するミニ講演や善心寺獅子舞が披露されました。

午後はふるさと館で、河野氏にゆかりのある人らが県内外から集まり情報交換と見識を深める「河野氏関係交流会」が開催されました。

鹿島では秋の風物詩「鹿の角切り」を一目見ようと柵の周りは人だかりに。雄同士が傷つけあわないように11頭の鹿の角を切り落としました。



鹿の角切りを見物した小倉翔太さん・羽詩ちゃん(吉藤五丁目)



幼いころの子規に扮してパレードする番町小の児童

ちびっこのぼさん 子規の誕生日祝う

俳人・正岡子規の144回目の誕生日(10月14日)を祝おうと10月15日、子規の母校である番町小学校の4年生20人が幼少時代の子規に扮してまげを結び、伊予かすり調の着物にげた履き姿で道後商店街をパレードしました。

その後、子規記念博物館で

お問い合わせは、観光産業振興課 ☎948 6555・FAX 934 1764 へ



松谷 玲志くん
(番町小4年)

子規の誕生日祝う

誕生祝いの餅つきが行われ、子規の誕生日回数と同じ144個のお餅が来館者に振る舞われるなど、子規の誕生日を盛大に祝いました。

子規さんの誕生日のお祝いができて楽しかったです。この姿を見て子規さんも喜んでくれると思います。

のぼさんとあそぼ秋祭り

お問い合わせは、道後温泉事務所 ☎921 5141・FAX 934 3415、椿の湯 ☎935 0506 へ



道後温泉本館・椿の湯 臨時休館します

年末大掃除のため、道後温泉本館は12月6日(火)、椿の湯は12月7日(水)、臨時休館します。



ふるさと松山の発展を願う

関東地区在住で松山にゆかりのある人たちの集い「松山愛郷会」の総会と懇親会が10月13日、東京都内のホテルで開催されました。総会では名誉会長の野志市長がこの1年の市政報告や今後の取り組みなどを説明。その後の懇親会では松山鮓などの郷土料理に舌鼓を打ちながら、和やかな雰囲気の中、ふるさと談議に花を咲かせました。

「はやぶさ」カプセルが松山に

7年の歳月を経て、小惑星イトカワから帰還した「はやぶさ」のカプセル展示会が10月13～17日の5日間、総合コミュニティセンターで開催されました。会場には帰還カプセル本体やパラシュートなどが展示され、大勢の小中学生らが列を作り、数々の展示品に見入っていました。



市政スポーツ



みんなの生活展2011 開催

安全・安心に暮らせる社会の実現を目指し10月15・16日の2日間、「みんなの生活展2011」が大街道商店街で開催されました。消費者・環境・健康の部門から78団体が参加したブースでは、健康相談に応じたり、体験コーナーを設けたりするなど、暮らしに役立つ情報を紹介しました。

水源の森基金への寄付に感謝状

水源の森基金へ寄付をした日野見衣子歌謡教室に10月18日、野志市長から感謝状が贈呈されました。同団体の日野見衣子代表が「水源保全のため、役立てていただきたい」と話すと、野志市長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



この広報紙は再生紙を使用しています